

空き家を見ると、声が聞こえる気がするという。

「助けて、まだ住める家だよって。それを聞いたら放っておけない」と語る。

空き家の再生を手がけるスタートアップ「ヤモリ」（東京）の共同創業者で取締役を務める。今年2月、三菱UFJ信託銀行と米国のベンチャーキャピタルから計10億円の出資を受けた。これを元手に、道内を含む全国の古い戸建てやアパートを約200軒買い取り、修繕して貸し出す事業に取り組む。

取得するのは、新たな家が建てられず住宅ローンも通らない「再建築不可物件」など個人が敬遠する家を中心だ。出資の受け入れや借り入れを増やし、5年後に地方都市で7500軒の物件取得を目指す。「世界の機関投資家の資金を活用し、地方の空き家を再生させる仕組みをつくりたい」と話す。

北広島市出身。大手商社に入社したが、希望していないシステム担当で仕事が面白いとは思えなかった。副業で不動産事業を始めたことをきっかけに、19

全国で空き家再生を手がける

ひろ せ
涼 哉さん
りょう や

年に元同僚と創業した。

掲げたのは「不動産の民主化」。賃貸経営は地主だけでなく、多くの人に開かれるべきだと考え、会社員や主婦らにノウハウを伝えるユーチューブや会員組織を運営する。

昨春には、センサーで人の動きを感知する高齢者見守りサービスを始めた。空き家再生と共通するのは「日本の住環境を良くしたい」という思いだ。

福岡県在住。リモートワークをしながら、空き家探しと修繕のために全国を飛び回る。39歳。

（津田祐慈）

ひと 2024

